



楠隼中学校・高校だより

全国から生徒が集う全寮制中高一貫教育校

中学校 性教育講話を実施しました

1月29日、中学1年生・2年生を対象に性教育講話を実施しました。

中学1年生では、「自分の心と身体の主人公になる」と題し、県助産師会助産師の上村直美先生と辻万里代先生を講師に招き、講話をしていただきました。胎児の成長に関するエプロンシアターの実演をまじえた、生命の誕生に関する講話を視聴しました。代表生徒が妊婦体験も行い、多くのことを学んだようです。命のつながりを理解することで、自他の命を尊重するとともに、自分の生活や生き方を考える、よい機会となりました。

中学2年生では、「思春期の性と健康」と題し、高田病院泌尿器科医師の内田洋介先生に、二次性徴に伴う心身の変化や疾病について、スライドを交え、専門的な講話をしていただきました。生徒からは、「自分の体についての、誤った理解を正すことができた。講話で得た知識を、将来の自分に生かしたい」、「様々な人が差別なく、生きやすい社会にしなければならぬ」といった感想が聞かれました。この講話で学んだことを、今後の生活に生かしてほしいと思います。



高校 センター激励会・センター試験が行われました

1月8日の始業式後に、入試本番に先立ち、センター試験を10日後に控えた3年生を励ます「センター激励会」が行われました。2年生の生徒会長、坂元直英君から激励の挨拶があった後、威勢のよい大きな声での音頭に続き、全校生徒により3年生にエールが送られました。その後、全身白のコスチュームを着た生徒会役員6名による「鏡餅マン」が登場し、3段ピラミッドで見事な鏡餅を作り、「成績は粘り強くまだまだ伸びる！」と3年生を鼓舞しました。後輩たちのユーモアあふれるエールを受けて、高校3年生代表の永田太陽君は、「3年生11名で一丸となって入試に向けて頑張ってきた。今、手応えを感じている！楠隼で学んだことを全力で出し切ってきて来ます！」と、力強く述べてくれました。

1月18、19日に、3年生はこのような後輩たちからの力強い応援を背に受け、会場の鹿屋体育大学で大学入試センター試験に挑みました。3期生として、楠隼高校の歴史を築いてきて、堂々と試験に挑む姿に彼らの成長を実感しました。このセンター試験の結果を受けて、出願校が決定します。子どもたちはそれぞれ、さまざまな進路選択をしていきます。このセンター試験を一つの通過点として、合格まで職員生徒一丸となって走り抜けます。

